

省く(き) 払う(い) はばむ(み) 控え 引き合う(い) 引き上げ

省く(き) 払う(い) はばむ(み) 控え 引き合う(い) 引き上げ

引きあげる 引き当て 引き当てる 引き合わせ 引き合わせる

引きあげる 引き当て 引き当てる 引き合わせ 引き合わせる

引き受け 引き受ける 引きおこす(し) 引き返す(し) 引き下げ 引掛かる

引き受け 引き受ける 引きおこす(し) 引き返す(し) 引き下げ 引掛かる

引きしめる(り) 引きしめる 引きずる(り) 引き出す(し) 引きつぐ(ぎ)

引きしめる(り) 引きしめる 引きずる(り) 引き出す(し) 引きつぐ(ぎ)

引き取る(り) 広むく(き) 開く(き) 翻る(り) 広げ 広げる

引き取る(り) 広むく(き) 開く(き) 翻る(り) 広げ 広げる

広め 広める 含む(み) ふせく(き) 所ぐ(き) 減らす(し) 減る(り)

広め 広める 含む(み) ふせく(き) 所ぐ(き) 減らす(し) 減る(り)

ほむ(し) ほとばしる(り) 減ぶ(み) 減ほ(す) 参る(り)

ほむ(し) ほとばしる(り) 減ぶ(み) 減ほ(す) 参る(り)

まかなう(い) まきおこす(し) まきおこる 待ち合わせる まちがう(い)

まかなう(い) まきおこす(し) まきおこる 待ち合わせる まちがう(い)

まきまる(り) まきめる 学ぶ(み) 間に合う(い) 間に合わせる

まきまる(り) まきめる 学ぶ(み) 間に合う(い) 間に合わせる

まぬがれる まねく(き) まみれる 守る(り) 見当たる(り) 見出す(し)

まぬがれる まねく(き) まみれる 守る(り) 見当たる(り) 見出す(し)

見受け 見受ける 見込む(み) 満たす(し) 導く(き) 認め  
㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

認める みなす(し) 見抜く(き) 見のめす(し) 報う(い) むさぼる(り)  
㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

結ぶ(む) 結む(む) つく(き) 結む(む) 結む(む) 結む(む) 結む(む) 結む(む)  
㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

めぐる(し) めがらせる 申し合わせ 申し合わせる 申し入れ  
㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

申し受け 申し受ける 申し込む(み) 申し立て 申し立てる  
㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

もくろむ(め) もたす(し) 用いる 持つ(ち) 求め 求める  
㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

成す(し) 物語る(り) 物語(り) 物語(り) もらう(い) もらいたい 養う(い)  
㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏



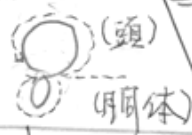

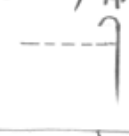
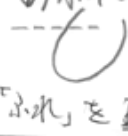




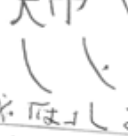
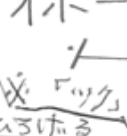
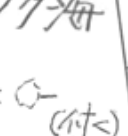
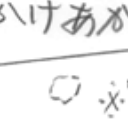
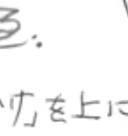
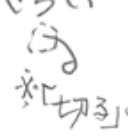
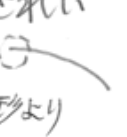

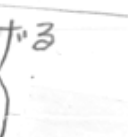

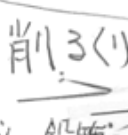

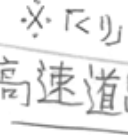
破る(り) やす(し) やだぬ やだぬる 許す(し) ゆるむ(み)  
㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

弱(り) 弱い 横たわる(り) 読む(み) 忘れる 患う(い)  
㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

わす(ら) わす(ら) わす(ら) わす(ら) まる(り)  
㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

# 寓意省略法

「左竹式速記学習コース」の第六章 170ページに「寓意省略法」が意味付けられている。「寓意省略法とは何らかの意味を付けて省略する方法である-----ただ、これは動詞が大部分で-----」と説かれている。諸例として、アガリ、サガリ、アケ、サケ、ホリ、タリ、ノボス、クダス、アケル、ウケル、掲げる、ホス、オリル、下さる、通す、通る、戻す、戻る、カエス、オオス、オオル、抜く、ノゾク、ノゾム、消す、ワル、ワケ、交える、交わる、まじる、サワル、混る、ワタル、ワタス、カケル、カカル、払う、並ぶ、重ねる、アダル、アダグ、アサガル、伏ぐ、倒す、倒れる、植く、集める、加える、囲み合わせる等々の符号例が掲げられている。「任意符号」とも称され、丸子式速記符号では「形状符号」あるいは「象形符号」などと大胆な命名を使用している。實際上、考え出したらキリがなく際限がなくなり、非常に危険である。無闇に乱造することは厳に慎むべきである。幾つかの中の数例に過ぎないが、丸子式速記符号での符号例を掲げる。

あいた口がふさがらない  顔 ※ 頭は上にあるものを上に	頭  ※ 頭を越す	頭でかち  (頭) (明体)	当たらずさわらず  ※ いずれも当たらずさわらず		
当たり散らす 	あふれる  ※ 「ふれ」をふれ様に	頂く  頂の形	上から下へ 	上すべり 	エレベーター 
大巾  ※ 「はし」とひろがる	オホーツク海  ※ 「ツク」は付く	かけあがる  ※ 「かけ」を上	かけぬける  ※ 「かけ」を「ける」でぬける	かわがる  ※ 「帽子」の形より	
きれい  ※ 「切る」の形より	くりひきける  ※ 「くり」をひきける	黒山の人だかり  ※ 「くり」を重ねる	消す  ※ 黒板の字を消す形を連想	削る(り)  ※ 鉛筆を削ると先端がとがる形	
高速道路  ※ 高い所を道路が走る	越す(り)  ※ 前の物越してゆく形	こする  ※ 前の物を「する」Cでこす			

<p>こぼれる</p> <p>↓</p> <p>※ 下に「こぼれる」をこぼす状態で</p>	<p>魚</p> <p>※ さか+な</p> <p>※ 単に「な」の連記者略に過ぎないが、いかに、魚の形が生じた。</p>	<p>さかのぼる</p> <p>↑</p> <p>※ 「さか」を上にのぼらせたもの</p>
---	---	---

<p>絞る(り)</p> <p>∩</p> <p>※ 「し」を換り、絞る形とした</p>	<p>しゃくにさわる(り)</p> <p>∩</p> <p>※ 「しゃ」に「る」を触れた形</p>	<p>しゃべる(り)</p> <p>{ の ( (</p> <p>※ 「しゃ」を複数回書いてしゃべる形とした。</p>	<p>数珠つなぎ</p> <p>W</p> <p>※ 「じゅ」( ) を「ず」に代用し、つないだ形としたもの</p>
--	---	---	--

<p>新幹線</p> <p>↑</p> <p>※ 新幹線は高所を走る。さらに「かん」——:と「せん」つとをつなげて(ま)う。また「しん」は前符号の右上に置き位置利用(スペース)する。</p>	<p>スピードアップ</p> <p>↑</p> <p>※ 「スピ」の「ド」を上に置きupを示す。</p>	<p>すべりおりる</p> <p>∩</p> <p>※ 「すべり」を下方に書き「る」を付ける</p>
---	--	--

<p>すり減る</p> <p>∩</p> <p>※ すり減ると手になるもの。そこで「へ」を長く平仮に書いて表す</p>	<p>そばだてる</p> <p>∩</p> <p>※ 前符号の傍に「たてる」を書く。</p>	<p>そろえる</p> <p>∩</p> <p>※ 「え」を二本書く。整えて揃えて書く</p>	<p>ダウン</p> <p>○</p> <p>↓</p> <p>※ {だん}を下に書いてdownを。</p>
---	--	---	--

<p>たっぷり</p> <p>∩</p> <p>※ 本末「た」は「ぷり」をつないだだけのものだが、そうすると「た」のつながりである。大き目に「たっぷり」と書く</p>	<p>本末「傍」は「た」であり前符号の傍には「は」を書く。もも同方向なのでまとめてしまったもの</p>	<p>立て掛ける</p> <p>∩</p> <p>※ 前符号に「たてる」を立て掛けるように書く</p>
---	---	---

<p>ダブルフォレイ</p> <p>∩</p> <p>※ 「ダブル」に「フォレイ」をつなげたもの(同方向)</p>	<p>散りばめる</p> <p>∩</p> <p>※ 「ちり」に複数の加点を打つことにより「ちりばめる」</p>	<p>旋毛(つむじ)曲り</p> <p>○</p> <p>← 頭</p> <p>※ 頭○の端に点の旋毛をあらわす。</p>
---	--	---

<p>出合い頭</p> <p>※最初に左から右に次に上から下に交りの隙を書く。</p>	<p>天辺(てんぺん)</p> <p>※前符号の上、すなわちてんぺんに「へん」を置く。上は天辺(てん)</p>	<p>整う(い)</p> <p>※「て」を2本並べ整えて書く</p>	<p>整える</p> <p>※整う(い)に「え」を付ける</p>
---	---	------------------------------------	----------------------------------

<p>敵(た)める</p> <p>※「た」を舌と見立てて「え」を舌先と見立ててそれを内側に巻く形を作りつつ、<u>水筒でも敵める</u>形として表す。</p>	<p>のびる</p> <p>※「の」を24ミリぐらいに書き加点して、<u>のびる</u>。尚、「のばす(い)」は  とする。</p>	<p>花</p> <p>※「花」の開花した形を  で表す</p> <p>人里はなれた</p> <p>※「人」は  「里」は </p>	<p>引く手あまた</p> <p>※「ひく」に「て」しを複数回(読める。しでもよいが2回かよいでしょう。複数回が<u>数多(あまた)</u>を表す。</p>
---	--	--	--

ひろげる

※前符号の右上部に「広+行」を置いて「ひろ」なのであるが、これを更にひろげて大きく書いて「ひろげる」。

尚、「ひろげた」は とする。

加点は「げ」に打点の意味である。

「はなれた」を下段に書いた理由は「た」を離れた位置に置いただけのこと。本来、丸子式では「に離れた」の符号は存在しない。

増える

※「ふ」を複数回書きこれを増えたと考える。「増やす」は とする。

膨らむ(み)(ん)

※膨らめば丸くなる。大円で表わしたもの

防ぐ(き)(い)(ん)

※前のものを又前かくるものを「ふせ」の符号で防ぐ形

蓋(ふた)

※釜や鍋の蓋をあてはめたもの別段「ま」には「ふた」の符号があるわけではない。あく迄も形状のもの考へ

平行線

※「た」を2本平行に引くのみのこと。

延(へり)くだる


※「へり」の下に「た」を置いたもの。「した」の位置利用のもの


骨抜き(ほり)


※「骨」を「き」で抜いたと理解する


骨太


※「ほね」の「ほ」を太く大きく拡大する形で表した。


ボリューム  

 (位置利用の  
 ステージ参照  
 されたし)  
 (ム)各位置を示す  
 ※「ま」の「し」を大胆に  
 大き記して加える。  
 ボリューム一杯の意味。


曲がる  

 ※「ま」の先端に  
 鍵付けして加える。  
曲がるを表す  
 (23, 24ページ参照)


曲げる  

 ※「ま」に「ける」を  
 付けて加える。左が曲  
 る」と対称させる  
曲げるを表す。

真二つ  

 ※「ま」へを  
 「つ」で割る。  
 正に真二つ

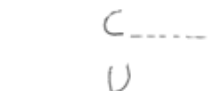
目蓋(眼)  

 ※「ま」の上に  
 「蓋」を  
 置いただけのもの。  
 如何にも目蓋  
 の形を表す。

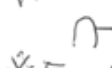
右から左  

 ※右から左に  
 一直線を引  
 いたのみで表  
 す。角度は右  
 第1象限の//が  
 度くらいがよい。  
右から左を表す。


水  

 ※「み」U と「ず」V (否定の「ず」V) とで  
 W とすることに何の違和感もないと思ふ所  
 だが、W と似て非なる連続させるのは何とほいに  
 抵抗を感じていた。そこで水  
 滴が跳ねる状況を  
 暗示させて、水を表した。

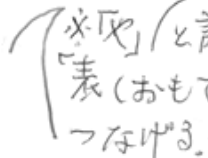
道  

 ※特に説明の要も  
 ないが道を表す。


※尚「道路」は  
 「道」|| に加  
 えて||とする。

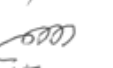
身の上ばなし  

 ※「み」U の上に「はなし」を置  
 いたに過ぎない。  
 すなわち 身の上ばなし である。


結び付く(き)  

 ※「ま」の「し」を  
 つなげて 結び付く  
 せたもの。

燃えみる(り)  

 ※「も」の「し」を大き記して、燃えみる  
燃えみる(り) を形で表したもの。

矢面に立つ  

 ※「矢」と記し  
 「表(おもて)」  
 つなげる。  
 そしてこの「表(おもて)」  
 を立たせる。その為  
 に立たせて無理強引に  
 (の形に表えてしま)。  
 すなわち 矢面に立たせる形。

やり玉にあげる  

 ※「やり」の上に  
 「たま」○をあげる  
 唯、それだけのもの  
 「やり」の上に「玉」を  
 あげた形  
 すなわち やり玉にあげる。

指折り数える  

 ※「指」に左指を  
 数本、次第に折り  
 重ねる。すなわち  
指折り数えるの形

リニューアル  

 ※「リ」に「アル」  
 を重ねたもの。  
 「重ねる」ということは  
 「重ねる」ということ  
 「リ」は26ページ  
 の位置利用よりのも  
 のリニューアルである。

※ さはさりながら、過去に於ける私は、この寓意省略法をある名立たる既存の速記方式の中に見い出したとき、「これが天与の速記の極意と見つけた」とばかり胸目も振らず、実にこしらえ出していけば無限数のこの種の符号の乱造に取り組み、無我夢中になっていた時代があったものである。それは無限の可能性を秘めているものと確信を得たからであった。併し現在、当時、考えてこしらえたこの種の符号の60.0%強のものは、私の手元にはなく、全く、使用していない。使用頻度というものを全く考慮しなかつた所に最大の原因があったのであった。ここで(111~114ページ)の符号例示は数多くの中のほんの一部ではあるが、これをひし眺めして「頂ければ理解できることではあるが、本来の符号とは見做されないもの(顔、頭など)や、また、本来の符号を変形(巨大化 または 矮小化)させた形のものは、一定の規定の枠内であれば、その符号走行上の方にさえ留意を払っていさえすれば特に巨大化では全く無制限である、ということになる。但し矮小形には留意すべきだ。そこで、例示すれば、「あいた口がふさがらない」「頭でっかる」「あふれる」「エレベーター」「くりひろげる」「たっぷり」「旋毛曲り」「であいがしら」「のびる」「ひろげる」「ふくらむ」「平行線」「ボリューム」「右から左」「然えひろがる」などは巨大化については如何に巨大化させても制限がない、ということなる。断っておくが、これ等の中で「あいた口がふさがらない」とか「頭でっかる」とか「旋毛曲り」とか「であいがしら」とか「右から左」などについては巨大化や矮小化は自在であるが、これら以外の例については、特に矮小化は当初から使用を禁じておくことが必要不可欠なことである。

矛盾していることはかりを述べ立ててはいるが、ものには限度というものがあり、巨大化 巨大化とはかり言っても余りにも大袈裟過ぎるのも厳に戒めるべきであり、余りに有頂天になるものでないことを強く指摘しておきたい。このように符号の規則の拘束を越えて、極めてリラクスに奔放さ、大胆さなどの可能性を秘めた特異性も、この寓意省略法の利点であるし、魅力的なところであることは確めた。

名詞(類)

※同教本の51~52ページに準拠

あいさつ    あいまい    あたり前    愛国    青色申告    暁    赤字  
 サ            ヤ            一ノ            一            ろ            一            一

天刑 圧縮 圧迫 圧力 悪用 悪意 ありさま 安全 安全保障  
ニ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ

安定 アウトサイダー アクセサリー アクレマン アフターサービス アポイント  
ニ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ

アマチュア アルバイト アンバランス いきおい いきさつ 委員  
ニ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ

委員会 委員長 城外 城内 意義 異議 意気込み  
ニ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ

意味 維持 一括 一石二鳥 一朝一夕 一昨日 一昨年  
ニ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ

田舎 印刷 印刷物 飲食物 逸脱 以来 命  
ニ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ

移民 任 イデオロギー インターナショナル インフレ  
ニ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ

インフレーション インベントリー インベントリーファイナンス  
ニ ヲ ヲ ヲ

受け取り 受け取り超過 受け付け 受け身 受け持ち  
ニ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ

受け渡し 請負 打ち合わせ 打ち消し 内訳  
ニ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ



裏書き 裏口 売上げ 売上げ高 売上げ金

ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ

売り手 売り掛け金 貯金曲折 ぶんく 云々 売渡し

ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ

運輸省 運輸大臣 常利 益金 永遠 永々

ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ

演説 沿革 円滑 エカエ エキスパート エスカレーター

ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ

エネルギー エンゲル係数 FOB NHK お伺い おたずね

ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ

お答え お謙 お詫り お説 覚書き 公の 趣

ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ

大わらわ 大麦 小麦 大蔵 大蔵省 大蔵大臣

ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ

おしり 臆測 おぼしめし 思惑 思い出 思ひき

ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ

思わせぶり ホットリタイ オートメーション オブザーバー

ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ

ホーレション ↓	オリンピック x	買い入れ → or ↓	買い杓 ↓	買い占め →
会議(会期) →	会計 o	会計検査員 o	会観(外見) o	会社 o or ↓
株式会社 T or ↓	改革 o	改良 T or ↓	解雇 ↓	解決 o or ↓
海岸(会館) →	海軍 ↓	開会 →	開心 ↓	外貨 →
外貨獲得 →	外国 ↓	外務 ↓	外務省 →	外務大臣 →
外相 ↓	校 → or ↓	外交官 → or ↓	确实 →	確定 →
確言 →	確信 →	画策 →	画期的 →	閣議 →
閣僚 → or ↓	閣議決定 →	学校 →	学問 →	学識 →
価格 →	科(化)学 →	科学技術 →	科学技術提供 →	価値 →
獲得 →	火災 →	火力 →	火力発電 →	過失 →
過激 →	過当競争 →	扩充 →	拡張 →	格別 →
各党各派 ↓	可決 →	階級 →	苛酷 →	活発 →
活動 →	活躍 →	傾き →	限り →	形 →
貸付 →	貸付金 →	貸し倒れ ↓ or ↓	貸し出し →	株 → or ↓
株式 →	株主 →	引 →		

からくり 加減 借り入れ 借り入れ金 かわせ かわせ管理  
 一〇 → or → or → 丁下 丁、 or 一〇

間接 関係 管理 管理通貨 関心 寒心 感心 観心 肝心  
 一〇: 〇一 〇一 一丁 勧進

旱害 } 旱魃 } カトリック カトリック教 カリン 硝子  
 感慨 } 間伐 } 一〇: or 一〇: 一〇

カルシウム カルテル カロリー 議員(院) 議会 } 議決 }  
 一〇 or 一〇 一〇 一〇 一〇 or 一〇 一〇

議事日程 議長 議論 規則 技術 規律 気持 気の毒  
 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 or 一〇 一〇

機関 } 機関 機構改革 企業 企業整備 危機  
 期間 } 一〇 or 一〇 or 一〇 一〇 一〇

危険 基本 基金 基調 } 極端 拒絶 拒否  
 or 一〇 or 一〇 or 一〇 一〇 一〇

拒否権 去年 きょう 教育 協調 } 協議 協力 }  
 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇

協同組合 (農業)協同組合 (一)業組合 産業組合 供給  
 一〇 一〇 一〇 or 一〇 一〇 一〇

供出 恐縮 業績 強固 共産党 共産主義 行政整理  
 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 or 一〇 一〇

行政協定 切り上げ" 切り下げ" 緊急 緊需 緊密 金ゆ  
又 ㊦ ㊦ ㊦ : ? ㊦ ㊦

金ゆ機関 金ゆ公庫 キリスト キリスト教 クリスマン  
㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦

国 わが国 国々 組合 組合員 工合 具体 具体化  
㊦ ㊦ ㊦ X X ㊦ ㊦ ㊦

具体的 具体策 区画 区画整理 區別 釘付け 空間  
㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦

空気 空軍 空港 (羽田)空港 際入金 際越金 障のへ  
㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦

際上げ" 軍事基地 クレジット クレムリン グループ グラズアップ  
㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦

計画 計算 経過 経営 経済 経験 } 警官  
㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦

警察 警察官 警視庁 形式 傾向 景気 契約 激減  
㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦

激変 激論 詰論 昧昧 詰核 詰局 決意 臆 現在  
㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦

現行 } 憲法 權利 權利義務 權限 權力  
原稿 } 〃 〃 〃 〃 〃

研究 } 減額 減價償却 原価計算 嚴しく  
言及 } 〃 〃 〃 〃

敬和 } 原則 建築 檢察 檢察庁 檢察官 建設 建設省  
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

原子 } 原子力 原子力潜水艦 効果 恒久 } 公債  
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

公共 } 公共事業 公共事業費 公共団体 公開 公庫  
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

公務員 } 貢獻 講義 } 工作 幸福 } 公立  
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

構築 } 皇室 考慮 高校 高等学校 項目 合理 合理化  
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

合理主義 } 功利主義 交換 } 厚生大臣 厚生省 }  
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

国会 } 国会議員 国家 国家公務員 国民 国庫 国有  
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

国際 } 国際収支 国際連合 国策 小売 国務省  
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

国務大臣 } 合理的 誤解 極く 心 } 心がまえ  
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

心づもり 試みに 御承知 御承知の如く 御承知の通り 御承知のとおり  
 〇 >0 〇 〇 〇 〇

御承知のよに 揃え(3) コスト 御存知 御存知のよに 答え 答え  
 〇 〇 〇 〇 〇 〇

こら こち 御了解 御了承 氷 頃 〇 〇 〇 〇  
 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

言語道断 コンサルタント ことごとく 事ごとく ことごとく ことごとく  
 〇 〇 〇 〇 〇 〇

異なる(り) 殊に 子供 診 今度 コントロール 今日 (今日) 今年 (今年)  
 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

根本 サービス 最近 断わる(り) 此の度 好む(み) ごまかす(し)  
 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

コミュ=ケ コミュ=ケーション コミ=フルム 米 採決 最高裁判所  
 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

財産 } 再三再四 財産税 歳出 最初 最近 最大 最大限  
 再三 } 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

最小限 最大公約数 最小公倍数 再構成 再準備  
 〇 〇 〇 〇 〇



衆参院 周知 修正 集中 従来 処置 職業 職業安定所  
(X) (or) + ) + < P (or) (or)

所得 所信 植民 食糧 消極的 小説 商船  
P or ) ( ( ( ( ( ( (

商工会議所 少女 賞賛 省略 小学校 正直 状況  
( ( ( ( ( ( ( (

状態 条約 準備 寄世 審議 浸水 人類 人物  
o ) ( ( ( ( ( ( ( (

シカゴ シグザグ システム ショッピングセンター シフトリヤ シャーティスト  
o ) ( ( ( ( ( ( (

シャーリズム シリーズ ジンクス シンクロトロン シンクローゲン 水産  
< ( ( ( ( ( ( ( (

水産物 水害 水力 水力発電 水準 随時 推進 推せん 推計  
( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (

推定 遂行 筋(数字) スクラップ° スクラム スケール スケジュール  
( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (

ステーション ステートメント ストライキ スペース スポーツ スポンス  
( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (

スポーツスマン スリッパ スローガン 性格 正確 生活  
( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (



生活水準 生産 生産率 生存 生存競争 政府 政務次官  
カ ナ ナ ナ ナ ナ ナ

政治 政争(製造) 製造業者 製鉄 成績 成立 税金  
ナ ナ ナ ナ ナ ナ ナ

製品 制約 勢力 責任 積極的 節約 節減 石炭 説明  
ナ ナ ナ ナ ナ ナ ナ ナ

設備 設備投資 設立 切々 接隣 絶対 全体 戦前  
ナ ナ ナ ナ ナ ナ ナ ナ

青少年 全幹 全幹 全員一致 戦争 選挙 前進 セスチア  
ナ ナ ナ ナ ナ ナ ナ ナ

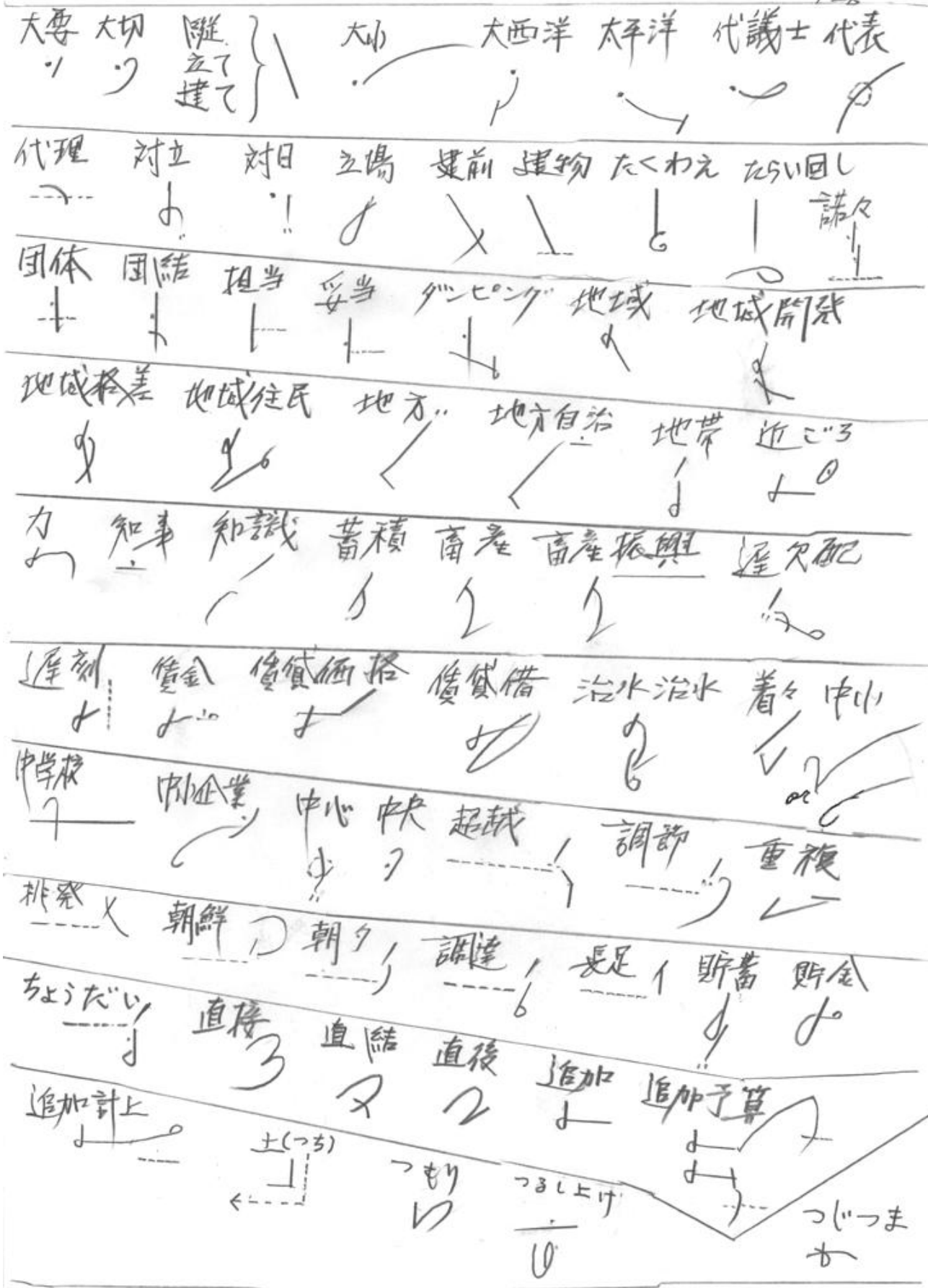
セルマン セネレーション セルサービス センセション センメンタル  
ナ ナ ナ ナ ナ ナ

セントルマン 阻止 措置 即刻 即時 卒業 速記 速記録  
ナ ナ ナ ナ ナ ナ ナ ナ

掃除 増進 増大 増税 操作 相隣 隠理 隠裁 相対的  
ナ ナ ナ ナ ナ ナ ナ ナ

隠選挙 造船 創設 壮烈 想像 底引き 底引き網 存在  
ナ ナ ナ ナ ナ ナ ナ ナ

存隣 村落 ソーシャル 大胆 大統領 大衆 大学 大地 大使  
ナ ナ ナ ナ ナ ナ ナ ナ



積り立て 痛切 痛烈 通商産業省 鉄道 通当  
○ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ

適切 適性 適用 適合 適性 適応 手当て  
ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ

刊続 天皇 天皇陛下 程度 低利 低利資金 帝國  
ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ

定置網 定期 提案 提出 徹底的 適格 下誌 天災  
ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ

天引き 電子 電子計算機 テル テル-シヨク テル-シヨク  
ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ

デミネーション テレ デモンストレーション 討議 道德 当時  
ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ

当局 当選 父ちゃん 投票 答弁 到達 到着 動物  
ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ

動物物 都道府県 土地 特別 特別会計 独断 特有  
ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ

特色 持珠 特例 特質 特定 独之 独之採算 独裁  
ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ

独占 独禁法 独特 必じん 努力 突然 突如 突致 取川 締判

① L / | ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

取川 締判 本部 取引引き 取引扱 取引調心 取引計ら 引付

トランジスター 内閣 内閣高連 内部 内容 内密 泣き寝入り

成り行き 何れに 納得 流 だしょう だしょう だしょう

日本 日本国民 日本銀行 日食 人間 二重構造 荷物

ユアンス ニュース ニューヨーク 水たて 水たて 扱きさし

値上げ 値上げ 熱意 熱烈 燃料 年限 年金 年々

寝耳に水 念入り 農家 農民 農業 農機具 農作物

農産物 農林省 農協 農業協同組合 農山漁村

能率 能力 のみ込み 野放し 乗組員 のりくらり

のっぴきばらぬ 一コマト 一マシ アマシ一マシ 一ロ一セ

配分 配付 背反 瘡物 瘡止 敗北 売買 場合 はす

馬脚 拍車 拍手 白眉 白面 白紙 幕府 爆弾 爆発 爆撃

暴露 博物館 はく然 発達 発言 発電 発熱 発注

はつらつ 花 話 松(い) はれいほ 反対 反発 反復

繁雑 犯罪 犯罪捜査 販売 半分 範囲 バラエティ

バランス バリテ計算 舌決 比較 比率 秘密

非課税 引き出し 引き継ぎ 引き継ぎ 被告 披瀝 飛躍

必要 必需品 必然 逼迫 匹敵 人々表現  
必要 必需品 必然 逼迫 匹敵 人々表現

標準 標準偏差 評議 評議員 評判 平等 品質 貧弱  
標準 標準偏差 評議 評議員 評判 平等 品質 貧弱

ビジネス ビジネス ビジネス PR PTA BCG  
ビジネス ビジネス ビジネス PR PTA BCG

不可解 不可能 不作為 不足 付屬中学 不備 不規則 不始末  
不可解 不可能 不作為 不足 付屬中学 不備 不規則 不始末

不都合 不公平 不測形 付託 腐敗 紛争 武力  
不都合 不公平 不測形 付託 腐敗 紛争 武力

風紀 風聞 風物 風俗 風水害 夫婦 複雜 幅員 福祉  
風紀 風聞 風物 風俗 風水害 夫婦 複雜 幅員 福祉

福祉 福祉 福祉施設 福祉 物価高 物価指数  
福祉 福祉 福祉施設 福祉 物価高 物価指数

分配 分析 分離 分裂 分別 紛失 紛争 文化 文化国家  
分配 分析 分離 分裂 分別 紛失 紛争 文化 文化国家

振替貯金 福基千万 シルク フォラステック プロダクション フローカー  
振替貯金 福基千万 シルク フォラステック プロダクション フローカー

兵器 糶 糶 糶 糶 糶 糶 糶 糶 糶 糶  
c ~~~~~ c ~~~~~ c ~~~~~ c ~~~~~ c ~~~~~ c ~~~~~ c ~~~~~ c ~~~~~ c ~~~~~ c ~~~~~

片鱗 ヘルシン グラス ベースアップ ペニシリン ベースランニング  
c ~~~~~ c ~~~~~ c ~~~~~ c ~~~~~ c ~~~~~ c ~~~~~ c ~~~~~ c ~~~~~ c ~~~~~ c ~~~~~

ヘルックス ヘルコプター 法則 報告 法律 法文 方法  
c ~~~~~ c ~~~~~ c ~~~~~ c ~~~~~ c ~~~~~ c ~~~~~ c ~~~~~ c ~~~~~ c ~~~~~ c ~~~~~

方面 方便 抱負 豊作 包括 防備 防犯 暴落 暴力 補足  
o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~

補欠 補足 補給 補助 補助金 保証 保証人 保証  
o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~

没却 充足 牧畜 骨めき 骨借り 相本 本年 本票  
o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~

本当 ボイコット 毎日 毎日1回 毎年 毎朝 誠  
o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~

摩擦 末節 まいぬ 満足 満場一致 マーケット  
o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~

マスク マージメント マルクス マーカー マーカー元師  
o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~

マイクロエージ 見込み 見事 見返り 見返り資金  
o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~ o ~~~~~

見通し 港 密接 民主 民主的 民族 民法 明日  
y 叶 u y y y y u u (み) (=5) 9

明後日 明年 明朝 シル シルク 昔 旨 村 村祭  
9 y u 10 10 11 9 9:

娘 無力 無理 無我夢中 迷わく 明確 明白 組  
10 6 ? 27 6 7 7 8

名門 面目 面接 面積 マッサージ マリット 物こ  
7 8 7 アア 7 8 11 11

物語 物し 申込み 申込み書 目標 目的 目撃 目録  
7 7 7 7 9 9 9 8

目下 目算 黙秘権 文字 文字通り 文部 文部省  
11 9 9 10 11 11 11

もんぢやく 問題 モラル 約束 役員 役場 ヤミ 病  
7 10 11 11 11 11 11 11

山 躍進 休み やぶさか 故に 夢 輸出 輸入  
11 11 11 11 11 11 11 11



輸出入 中予 中渡 中びん局 中政 融通 融資 有効



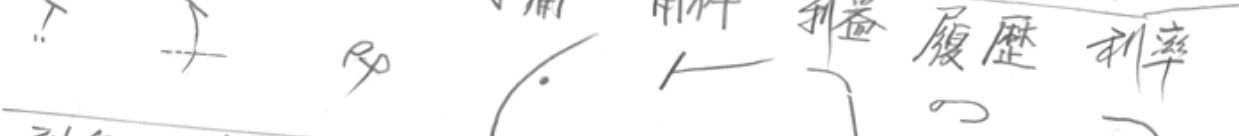
裕福 中びつ 悠久 中びつ受ける 中びつ渡す ユネスコ



殊 要因 用意 ようじ よく左 よく制 翌年 余裕



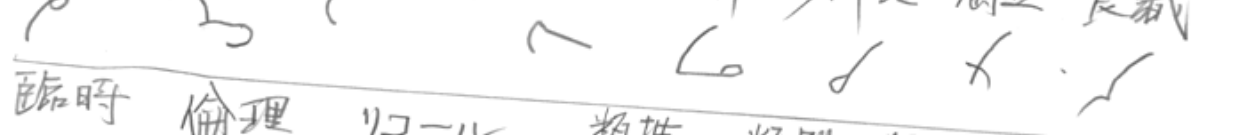
余地 予算 よしあし 予備 用件 利益 履歴 利率



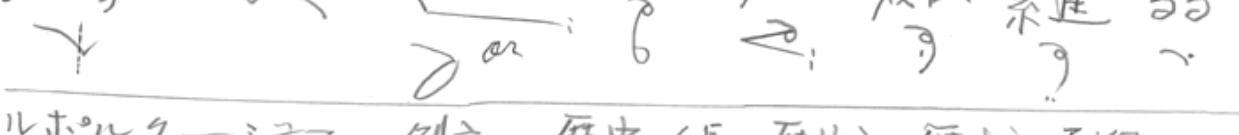
利息 利得 利害 理解 りは りは友 理論 力説



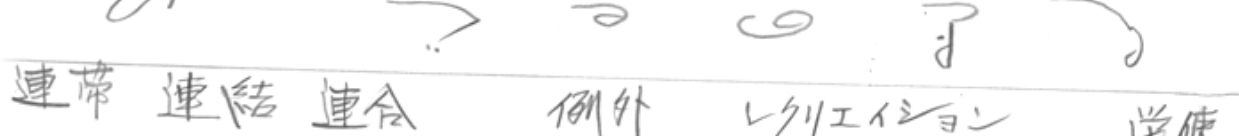
力量 略歴 旅行 旅費 了解 料理 両立 良裁



臨時 倫理 リール 類推 類別 類似 累進 する



ルボルトーエ 例示 歴史 (長い歴史) 歴式 零細



連帯 連結 連合 例外 レクリエーション 学使



労働 労力 労働組合 労働運動 露骨 論理 ロックアウト  
 ー 6 x ー 子 2 6

ロマンス ロマンチック わか ね国 訳(わけ) 割り当て 割合  
 子 子 c f ー 子 5

割り引き 災 わざと 早稲 綿  
 c c c 9 9

